



令和 6 年 度
「The・おおいた」ブランド流通対策本部総会

「The・おおいた」ブランド流通対策本部

第1号議案 令和5年度事業実績及び収支決算について

1 事業実績

〔マーケットインの商品づくりへの加速〕

令和5年度は、新型コロナウイルスが感染症法上の位置が5類へ引き下げられたことにより、自粛傾向にあった試食販売や、生産者・市場関係者等による消費地への現地訪問 PR など、積極的な販売促進活動を展開することができた。とりわけ2月に実施した京都市場トップセールスでは、県内の生産者団体代表や副知事等が参列し、主要な出荷先である京都で県産品を大々的に PR することができた。

県内外での販促活動や PR イベント等の実施回数は、年間 336 回にのぼり、今後の取引拡大に向け各関係者と強固な関係性を構築することができた。

1) 農産物

農産物では、新型コロナウイルス感染症が5類相当となったことを踏まえながら、短期集中県産品目を中心に県内外で消費者向け PR や販売促進活動を行った。

県内では、食品メーカーと連携して7月上旬～中旬に県内3つの量販店計5店舗で県産野菜を使った夏野菜カレーの販売促進を実施した。また9月上旬に県内消費者への販売促進を目的として、県内4つの量販店計39店舗で夏野菜フェアを開催し、消費者に向けて一層の県産品購入を促した。

県外では、主要市場となる首都圏、京阪神、福岡の卸売市場において、短期集中県産品目を中心にコロナ後を見据えたPRや量販店等での推奨販売を行った結果、主要市場において6品目14市場でシェアが1位となった。

白ねぎは、出荷拡大を目指す中京地区において、名古屋市北部市場で初めてのトップセールスを行ったほか、ナフコ不二屋やヨシヅヤ等での売場販促や名古屋市内飲食店街(チカマチラウンジ)での白ねぎメニューフェアを行い、大分白ねぎの知名度向上及び販売拡大を図った。その結果、セントライ青果での大分県産の白ねぎシェアは前年の3位から1位へ躍進した。また、西日本での白ねぎの消費拡大を目指し、福岡で大分県産白ねぎの PR 活動を行った。

県オリジナルいちご品種「ベリーツ」は、京都市場本格出荷5年目となり、12月9日に京都市中央卸売市場において市場PRを実施し、ギフト化粧箱(桐箱)1箱(400グラム)27万円の高値がついた。高単価販売に向けた取組として、産地での大玉パック出荷誘導を行いながらギフトアイテムの安定供給に努めるとともに、福岡の百貨店「岩田屋」の御歳暮ギフトや新宿高島屋、光洋、ハローデイでの販売拡大など、関東・関西及び福岡地区の高級フルーツ店及び百貨店・量販店への販売や相対取引に繋がった。また全農・JAと連携し、毎週末に翌週の販売予定数量を「産地情報」として各市場へ情報発信し、有利販売に繋がった。知名度向上に向けた取組として、京都市のリーガロイヤルホテル京都や京都高島屋でのスイーツメニューを通じたベリーツフェア、県内でのパークプレイス大分でのスイーツフェアなど、県内外で幅広く「ベリーツ」ブランドの確立に取り組んだ。

ピーマンでは、各市場と連携して県内外の市場(大分、福岡、京都)にて産地 PR を行うなどピーマンの市場シェア拡大に取り組んだ。また、消費拡大に向けた取組として、昨年に引き続

き永谷園と連携したプレゼントキャンペーンを実施した。キャンペーン期間中は限定フィルムでの販売を行い、消費者の購買意欲への訴求を行った。

高糖度かんしょ「甘太くん」も昨年引き続き「～あなたの街に「甘太くん」がやってくる！～甘太くんロードショー」と題して県内外(大分、福岡、関西)の量販店で積極的に焼き芋での販売促進活動を行い、「焼き芋といえば甘太くん」というイメージのより一層の定着に努めた。

加えて各品目においては別途県が支援し、JA 全農おおいたが取り組む短期集中県域支援品目の販売促進事業にて、前述の「甘太くん」焼き芋イベント、大分でのねぎまつりなど、積極的にPR 活動を行った。

さらに、県外市場において定期的に品質調査の実施と産地へのフィードバックを行い、選果・品質の向上と市場からの信頼向上に努めた。

2) 畜産物

畜産物は、消費拡大を推進するため、県内では小売業者(115店舗)でのおおいた和牛フェアや、飲食・宿泊施設(64店舗)及び EC サイト(11 件)でのおおいた和牛キャンペーンの開催、10月29日には大分駅前においてキャンペーン告知イベントとして試食提供を行い、一般消費者や観光客などにPRを実施した。さらに、食育活動(出前授業3回)と合わせ、学校給食でおおいた和牛を提供した(3校、1,610食分)。

県産統一ブランド豚肉「米の恵み」では、県内の飲食店(22店舗)でのキャンペーン、県産ブランド地鶏「おおいた冠地どり」では、飲食店でのフェア等を開催した。

おおいた和牛の認知度向上に向けた取組では、県外取扱い認定店でのフェアや百貨店・量販店での試食宣伝などの取組みを行った。

これらの取組により、参画生産農場61農場、おおいた和牛取扱店304店舗まで増加した。

3) 水産物

水産物では、アフターコロナを見据えた上で大手量販店、ファストフード店(寿司・天井チェーン店)等に対する販促活動を強化した。また令和4年度は記録的なもじやこの不漁に伴う在池量不足により生産量が伸び悩んでいたが、令和5年度は十分な在池量を確保できたため、関東・関西圏を中心に、かぼすブリを含む養殖ブリのPRを強化した。

「パートナーシップ量販店」のベルク(関東136店)、ウオロク(新潟県44店)、オギノ(山梨県41店)では、大分フェア(養殖ブリ・かぼすブリ)(ウオロク)、The・おおいたオススメキャンペーン(ベルク)、大分ブリフェア(オギノ)等を実施し、かぼすブリ、かぼすヒラマサ、養殖ブリ、釣タチウオ、ミヤマサーモン、骨切りハモ等のPR販売を行った。

また、量販店オギノでは、大分県公式アンテナショップ坐来大分の料理長による養殖ブリを用いた料理教室を開催し、郷土料理「りゅうきゅう」を用いた食べ方提案を行うなど、訴求効果の高い養殖ブリのPRを実施した。

また、日本最大の天井チェーン店である「天井てんや」(全国145店舗)を運営するロイヤルフードサービス株式会社を「パートナーシップ飲食店」に認定した。天井てんやでは、令和2年度より、大分ヒラマサ、かぼすブリ、関ぶり、ハモ(県漁協ハモ加工処理施設にて骨切り加工)がメニュー化されており、令和5年度も、ハモを使用した天井(12万食)、関ぶりを使用した天井(4万食)がメニュー化され、県産魚をPRすることができた。

これらの取組により、関東圏を中心に県産魚の一層の認知度向上及び消費拡大が図られた。

また、パートナーシップ認定によるさらなる連携強化が期待される。

4)しいたけ

乾しいたけでは、「うまみだけ」を軸にした認知度向上と購買訴求に向けた取組を実施した。県内では、大分トリニータ戦での PR ブースの設置、うまみだけアンバサダー「ボクくん」によるピッチ周回等により県内外の多く方に認知を図った。また、県外事務所と連携し、福岡・大阪・東京等での販売店イベントや料理教室を実施し、その様子を SNS 等で発信することでさらなる購買訴求を進めた。

令和2年のうまみだけブランド立上げから4年目となり、さらなる商談機会獲得のため加工品開発を強化し、令和 5 年度は合計8商品を開発した。11月には、一部新商品を用いてメディア・バイヤーへの訴求を目的とした「うまみだけ味力発信発表会(東京:坐来大分)」を開催し、著名人を起用するなど注目度の高いイベントになった。また、2月には県内旅行客をターゲットに別府市中心の23宿泊施設でうまみだけ料理を味わえるメニューフェアを実施し、食べる機会の創出を行なった。

上記取組を経て、うまみだけ認定生産者累計318名、令和 5 年度出荷量約96トン、うまみだけ同品柄単価差307円/kgとなり、ブランド確立に向け関係者一体となった取組を推進した。

生しいたけでは、10月27日の旬入り宣言を皮切りに京都市場を中心とした流通・販路拡大に取り組むと共に、新たに開発した冷凍しいたけのブランディング強化を進めた。

[企業等との連携]

農商工連携の取組では、食品企業への訪問活動によるニーズの把握と県産品の活用促進(マッチング)および食品企業と連携した加工・業務用野菜産地づくりに取り組んだ。

県産品を利用した加工品の開発として、かぼすでは、大手量販店と連携した「はちみつカボスドリンク」や「かぼす香るぼん酢」、大手飲料メーカー等と連携した「ニッポンエール大分県産完熟かぼす SODA」などが新たに発売された。また、コンビニと連携し、大分味一ねぎや大分ピーマンを使用した新商品が発売された。

ベリーツでは、関係機関が連携して開発した一次加工品(パウダー、ピューレ等)のサンプル配布等を行い、新たな商品開発の促進を図った。その結果、コンビニでの商品化、県内大手菓子店でのフェアが継続して開催されるなど、更なる知名度向上につながった。

[流通システム変革]

県域流通体制整備では、短期集中県域支援品目増産分の収容能力を補うため、大分青果センターの規模拡張工事を昨年8月から開始し整備を進め、令和6年4月に完成した。

「物流の2024年問題」への備えも急務となっている。関係諸団体とともに農業総合戦略会議にて情報を共有し、手荷役軽減や運転時間の削減に向け、パレット輸送に対応した資材の検討や関西への輸送ルートの見直し等について検討を行った。

県内生産者、流通関係者との販売流通協議、産地指導等の主な活動

月日	場所	活 動 内 容
4月6日	京都市	農産物販売状況、今年度の販促強化品目(ベリーツ、白ねぎ等)協議
4月6日	大阪府	水産物流通協議(かぼすヒラメ等に関する協議)
4月7日	大阪市	農産物販売状況、今年度の販促強化品目(梨、シャインマスカット等)協議
4月12日	福岡市	県産品販売協議、今年度のフェア開催協議
4月13日	福岡市	農産物販売状況、今年度の販促強化品目(ベリーツ、白ねぎ等)協議
4月20日	福岡市	ベリーツ、梨販売対策協議
4月26日	京都市	ベリーツ、ピーマン等販売対策協議
4月27日	名古屋市	農産物販売状況、白ねぎ販売対策協議
4月28日	京都市	ベリーツ販売対策協議
5月8日	福岡市	水産物流通協議(養殖ブリ等に関する協議)
5月9日	大阪府	水産物流通協議(養殖ブリ、ガザミ等に関する協議)
5月11日	京都市	ベリーツ、白ねぎ、ピーマン販売対策協議
5月16日	大分市	県内フェア開催協議
5月16日	京都市	おおいた和牛の流通協議
5月19日	京都市	ベリーツ流通対策協議(資材変更)
6月1日	福岡市	ピーマン市場PR対応、販売対策協議
6月5日	大分市	販売流通協議(現在の流通状況、今後の対応について協議)
6月6日	大分市	大分フェア開催協議
6月16日	京都市	ピーマン市場PR対応、販売対策協議
6月26日	大阪市	花き販売流通状況の情報共有、今後の販売対策協議
7月6日	大阪市	梨、シャインマスカット販売協議
7月13日	福岡市	農産物販売状況、ピーマン等販売対策協議
7月29日	京都市	おおいた和牛取扱認定店に係る協議
8月3日	大阪市	梨、シャインマスカット販売協議
8月17日	福岡市	ピーマン販売対策協議
8月18日	福岡県	水産物流通協議(パートナーシップ量販店等に関する協議)
8月19日	大阪市	日田梨市場PR対応、販売対策協議
9月8日	福岡市	農産物販売状況、ピーマン等販売対策協議
10月5日	京都市	おおいた和牛のPR協議
10月31日	大阪府	水産物流通協議(ガザミ等に関する協議)
11月1日	京都市	おおいた和牛取扱認定でのフェア協議
11月1日	京都市	農産物販売状況、ピーマン、白ねぎ、ベリーツ販売対策協議
12月5日	福岡市	農産物販売状況、ピーマン等販売対策協議
12月8日 ～9日	京都市	ベリーツ産地PR対応、販売対策協議
12月14日	福岡県	水産物流通協議(パートナーシップ量販店等に関する協議 等)
1月25日	福岡市	農産物販売状況、白ねぎ等販売対策協議
1月26日 ～27日	名古屋市	白ねぎ市場PR対応、販売対策協議
2月2日	大分市	農産物販売状況、白ねぎ等販売対策協議

2月7日	京都市	おおいた和牛の販路拡大協議
2月15日	東京都	大分フェア開催協議
2月16日 ～17日	京都市	京都市場PR、イオン京都桂川フェア対応及び県産農産物の販売対策協議

○販路の開拓

商談会、見本市への出展
百貨店、スーパー、ホテル、外食産業等へ商品サンプルの提供、バイヤーの招聘等による販路開拓

①商談会の開催、参加 具体的な取組み

項目	場所	時期	内容
東京シーフードショー	東京	8月23日～25日	会場:東京ビッグサイト(東京都江東区) ・かぼすブリ、かぼすヒラメ、かぼすヒラマサ、ひがた美人
大分県食材提案会	東京	2月15日	会場:坐来大分 大分こだわり食材提案会 ・開催日:2月15日 ・提案食材:味一ねぎ、白ねぎ、セリ、大葉、ベリーツ うまみだけ、原木生冷凍しいたけ(スライス) かぼすブリ、ヒオウギ貝 おおいた和牛、米の恵み、おおいた冠地どり、冠地どりコールドハム ・参加者:都内飲食店・バイヤー・マスコミ関係者36名
大阪シーフードショー	大阪	2月21日～22日	会場:ATCホール(大阪府大阪市住之江区) ・かぼすブリ、かぼすヒラメ、骨切りハモ

②量販店、外食産業、コンビニエンスストア、加工業者等への売り込み 具体的な取組み

品目	項目	活動内容・成果
こねぎ	拠点市場への販売	・大田市場における単価維持に向けた取組(新たな販路開拓) 東急ストア、ライブ等主要取引店舗での販促イベント実施
白ねぎ	重点市場への販売	・関西市場への出荷(大阪、京都) ・新規需要開拓が見込める名古屋市場への出荷拡大(セントライ青果白ねぎシェア2位)
ピーマン	拠点市場への販売	・福岡、京都、大阪市場における単価維持 永谷園とピーマン消費拡大に向けたプレゼントキャンペーンを実施
いちご	拠点市場への販売拡大	・京都市場への集中出荷
	ベリーツPR・販路拡大 企業との連携	・「ベリーツ」PR 京都・大分にてCM、広告放映。リーガロイヤルホテル京都ベリーツフェア、京都高島屋ベリーツフェア、新宿高野ベリーツフェア、パークプレイス大分スイーツフェア ・新規販路開拓:新宿高島屋(東京)、光洋(京都)、ハローディ(福岡・50店舗、販売店舗拡大)等
高糖度 かんしょ	拠点市場への販売	・拠点市場(関西地区)への出荷量拡大 県内、福岡、関西の量販店で焼き芋の販促を実施
にら	拠点市場等への販売	・福岡市場への出荷
かぼす	販路拡大	・量販店での販促活動(ヨークベニマル、高島屋、東急ストア、ニューヨークストア 等) ・食品加工業者への新商品開発に向けた提案
	企業との連携	・ベルク「はちみつカボスドリンク」、「かぼす香る甘・辛ぼん酢」発売 130店舗
トマト	量販店との契約取引	・イオングループ等に対する「赤採りトマト」の出荷 イオン(関西、中四国、関東、琉球)、山陽マルナカ、マックスバリュ西日本、ボンラパス、岩田屋

ハウス みかん	県域流通の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県域販売体制の確立(県南、杵築) ・市場集約化の推進 R1:8市場 → R2:8市場 → R3:7市場 → R4:7市場 → R5:7市場
梨	販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・関西市場での出荷量拡大 (オークワ、イズミヤ 等で販売)
ぶどう	販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・シャインマスカット出荷量拡大・貯蔵による長期出荷 ・百貨店向けのギフトアイテムの取引量拡大 ・年末商戦に向けた貯蔵期間の拡大の協議・検討
かぼす ぶり、 ヒラメ、 ヒラマサ	販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・新規企業の開拓 かぼすぶり出荷量 R4:333t → R5:617t かぼすヒラメ出荷量 R4:56t → R5:68t かぼすヒラマサ出荷量 R4:50t → R5:65t
おおい た和牛(お おい た豊 後牛)	販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいた豊後牛取扱認定店 R3:403店舗→R4:432店舗→R5:453店舗 ・おおいた和牛取扱認定店 R3:246店舗→R4:281店舗→R5:304店舗 ・おおいた和牛のPR活動 小売店での「9/4はおおいた日」キャンペーン、おおいた和牛ぎゅう牛キャンペーン、駅前広場でのPRイベント、おおいた和牛トレイン、県外飲食店フェア、小売店フェア、百貨店・量販店での販売促進 等
しいたけ	販路拡大	<p>【乾しいたけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまみだけ PR:宿泊施設メニューフェア(23カ所)、料理セミナー(全国6カ所)、加工品開発8商品 うまみだけ市場価格:5,238円/kg税込(同等品価格差307円) <p>【生しいたけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市場を拠点としたプレミアム原木生しいたけの出荷 R4:5.1t → R5:5.5t(見込) ・効率出荷に向けた組織体制の構築

○販売促進

① 大都市圏の大手量販店・ホテル・飲食チェーン店における販売フェア等を実施

具体的な取組み

●トップセールス同時開催 ◎:新規

項目	場所	時期	内容及び成果
販売フェア	首都圏	4月3日 ～6月30日	◎横浜ベイシェラトン 九州・鹿児島フェア ・味一ねぎ
		4月8日 ～4月9日	○ウオロク さかなの日 かぼすヒラマサPR販売 ・かぼすヒラマサ
		5月1日 ～31日	◎和-NAGOMI-大分フェア ・おおいた冠地どり、米の恵み
		5月20日 1月30日 2月23日	○ホームメイドクッキング大分県椎茸講座(所沢、横浜、船橋) ・乾しいたけ、かぼす
		6月1日 ～8月31日	○ハートンホテル東品川「REGINA」 Summer Party Plan ・おおいた和牛
		6月9日～	○天井てんや ハモPRメニュー(天井・単品) ・ハモ
		8月1日 ～9月30日	◎全農グループ飲食店フェア(東京1店舗) ・おおいた和牛、なつほのか
		8月9日 ～8月13日	○新宿高野大分フェア ・シャインマスカット、かぼす、かぼす加工品 等
		8月10日～	○天井てんや 関ぶりPRメニュー(天井・単品) ・関ぶり
		8月10日 ～8月12日	◎魚喜 かぼすヒラマサPR販売 ・かぼすヒラマサ
		8月17日	◎JA東京アグリパーク スダチ&カボスコラボ販売 ・かぼす
		8月22日～ 9月上旬	◎うどん家八重桜 カボスおろしうどん販売 ・かぼす
		8月24日 ～8月26日	◎中島水産 九州フェア ・かぼすヒラマサ、関あじ 等
		9月1日 ～30日	◎岩手県産食材×大分かぼすコラボフェア(都内 5店舗) ・かぼす
		9月1日 ～1月31日	○ハートンホテル東品川「REGINA」 Party Plan ・米の恵み
		9月9日、10日	○高島屋玉川店大分フェア ・梨、かぼす、シャインマスカット、味一ねぎ等
		9月14日～ 10月下旬	○モンテローザ系列店 ・かぼす
		9月15日～ 10月16日	○カボスフェアin Ginza (Bar等 34店舗) ・かぼす
9月16日 ～18日	○高島屋新宿店大分フェア ・梨、かぼす、シャインマスカット、味一ねぎ等		
9月19日	○坐来大分×新宿高野コラボイベント ・かぼす、シャインマスカット		

10月6日、7日	○焼酎甲類PRイベントかぼすPR ・かぼす
10月7日	○魚喜 かぼすブリPR販売 ・かぼすブリ
10月8日	○目黒さんま祭りカボスPR ○山形さんま祭りカボスPR ・かぼす
11月1日 ～11月7日	○遠鉄百貨店(静岡)大分フェア ・梨、味一ねぎ、かぼす、かぼすブリ、かぼすヒラメ、おおいた和牛等
11月9日 ～11月12日	◎オギノ 大分ブリフェアおよび坐来大分料理長による料理教室 ・養殖ブリ
11月10日 ～11月11日	○全国農林水産祭 大分ブース出展 ・味一ねぎ、かぼす、うまみだけ、干物等
11月16日	◎うまみだけ販促PR ・「うまみだけ味力発信発表会(坐来)」
11月18日	◎東急ストア大森店 ・味一ねぎフェア
12月の 土曜、日曜	○銀座 Bar Misty おおいたフェア ・ゼリーオレンジ・サンセレブ、かぼす、おおいた和牛、かぼすブリ
12月15日 ～12月18日	○新宿高野サンセレブフェア(新宿本店、東武池袋店) ・サンセレブ
12月19日 、20日	◎JAアグリパーク東京 甘太くんフェア ・甘太くん
12月23日 ～12月24日	◎ベイサイドホテルアジュール竹芝鉄板焼「天燈」クリスマスディナー ・おおいた和牛
1月5日 ～1月31日	○ウオロク 大分フェア ・かぼすブリ、養殖ブリ
1月26日 ～31日	●新宿高野ベリーツフェア ・ベリーツ、ベリーツ産地教室
1月27日 ～28日	○ナショナル田園 世界農業遺産大分フェア ・味一ねぎ、うまみだけ等
2月8日 ～28日	○ベルクThe・おおいたオススメキャンペーン(関東136店) ・かぼすブリ、養殖ブリ、関ものリュウキュウ、ひがた美人、釣太刀魚、ミヤマサーモン
2月9日 ～3月3日	○サポータショップキャンペーン(東京1店舗) ・おおいた和牛
2月15日	○坐来大分大分こだわり食材提案会 ・味一ねぎ、うまみだけ、かぼすブリ、おおいた和牛、おおいた冠地どり等
2月16日 ～22日	◎高島屋新宿店大分フェア ・かぼすブリ、かぼすヒラメ、関さば、味一ねぎ、白ねぎ、ベリーツ、甘太くん、おおいた和牛、米の恵み豚、おおいた冠地どり
2月24日 ～26日	◎味一ねぎ×ミツカン「カンタン酢」コラボイベント ライフ5店舗 ・味一ねぎ
3月1日	○坐来大分×新宿高野コラボイベント ・ベリーツ

	3月12日	◎ロイヤルフードサービス(天井てんや)のパートナーシップ飲食店認定 ・佐藤知事からロイヤルフードサービス生田社長へ認定証を交付
	3月14日 ～3月17日	○オギノ 大分フェア ・養殖ブリ

項目	場所	時期	内容及び成果
販売フェア	関西 中京	4月7日 ～5月7日	◎bistroITADAKIMASU 大分フェア ・かぼすヒラメ、ハモ
		4月7日 ～5月7日 6月30日 ～7月30日 2月1日 ～25日	◎飲食店フェア(なんばパークス) ・大分または九州各県の特別メニューの提供 ・おおいた和牛、味一ねぎ(ねぎしゃぶ)、かぼすブリ・ヒラメ、冠地どり等
		5月23日	◎マルヨシセンター 九州フェア ・かぼすヒラメ
		6月1日 ～8月31日	○芦刈 ハモPRメニュー ・ハモ
		6月16日	●京都市場ピーマンPR ・生産者代表あいさつ ・永谷園とのコラボ試食
		6月30日 ～7月30日	◎bistroITADAKIMASU 九州東回りグルメ旅 ・ハモ
		8月1日 ～9月30日	◎全農グループ飲食店フェア(関西2店舗) ・おおいた和牛、なつほのか
		8月5日、6日	○うまみだけ販促PR ・福助堂菓子店イベント
		8月6日 9月16日	○乾しいたけ料理教室 ・ホームメイドクッキング三宮、名古屋 ・ピーマン、かぼすといった県産食材を併せてPR
		8月19日	●日田梨市場PR(大阪本場) ・生産者代表あいさつ ・梨やノベルティを配布(100セット)
		8月19日 9月9日 ～10日 9月30日	○日田梨販促 ・生産者による試食宣伝販売(オークワ、イズミヤ)

8月28日 ～9月3日 1月25日 ～31日 2月5日 ～11日 2月26日 ～3月3日	店頭デジタルサイネージ「DELISH KITCHEN」を活用した販促 ○ピーマン(平和堂) ○白ねぎ(平和堂、ナフコ不二屋) ◎ベリーツ(平和堂、京都生協)
9月2日 9月16日 10月7日 11月25日 ～26日	◎JA兵庫六甲「六甲のめぐみ」での販促 ・JA間連携の取組 ・かぼす、甘太くん、加工品を販売(常設コーナーも設置)
9月2日 1月20日 2月27日	京都青果合同(株)主催の料理教室 ◎ピーマン、おおいた和牛、米の恵み等 ◎白ねぎ、かぼすブリ、米の恵み等 ○ベリーツ
9月8日	◎吉本新喜劇かぼすPR ・かぼす無料配布(約700名)
9月15日 ～10月15日	○名古屋チカマチラウンジ かぼすフェア ・かぼす特別メニューの提供
9月16日	◎おおいたフェア ・日田梨を中心にピーマン、トマト、かぼす等を販売(パル・ヤマト)
11月1日 ～1月31日	○ハートンホテル西梅田 Party Plan ・おおいた和牛
11月10日	○大分県酒造組合「蔵フェ酒」にてPR(ホテル阪急インターナショナル) ・かぼす、養殖ブリ、乾しいたけ、おおいた冠地どり(コールドハム)ほか
12月9日	●京都市場ベリーツ本格出荷PR ・京都市場にてセールス
1月4日 ～3月31日	○リーガロイヤルホテル京都ベリーツフェア ・特別メニューを提供:アフタヌーンティー、ショートケーキ等 ・フレンチやバーに取組拡大
1月11日	○辻学園での かぼすブリ講義実習 ・かぼすブリ
1月17日 ～2月14日	○京都高島屋ベリーツフェア ・ベリーツを使ったお菓子やスイーツの提供
1月27日	●名古屋市場白ねぎトップセールス及び店舗販促 ・産地代表あいさつ ・(株)Mizkanとコラボ試食 ・店頭販促(ヨシズヤ、ナフコ不二屋)
2月9日 ～3月3日	○サポータショップキャンペーン(関西16店舗) ・おおいた和牛
2月10日	◎観光イベントでの県産品PR(ホテルヴィスキオ大阪) ・知事出席イベント ・おおいた和牛、かぼすブリ、ベリーツ等
2月17日	●京都市場トップセールス ・副知事、農業団体代表(JAおおいた)が挨拶 ・いちご、白ねぎ、甘太くん、生しいたけほか
2月17日 ～21日	○イオン京都桂川おおいたフェア ・ベリーツ、おおいた和牛、原木生しいたけ、かぼすヒラメ、かぼすブリほか ・販売員による試食販売 ・イオン関係者との意見交換会を実施

2月19日	○KBS京都ラジオ ベリーツPR ・ラジオ出演「ファミリーレストランと海平和のめっちゃうま」
2月20日	○大阪めじろ会にてPR(ホテル京阪) ・20回記念大会 ・おおいた和牛、かぼすブリ、白ねぎ、ベリーツ等 ・マグロ解体ショー、ねぎしゃぶライブキッチンを実施
3月1日 ～3月31日	◎名古屋チカマチラウンジ 白ねぎフェア(7店舗) ・白ねぎメニューの提供
3月1日 ～3月31日	○伊勢屋おおいた和牛フェア ・おおいた和牛
3月1日 ～3月31日	○丸富精肉店おおいた和牛フェア ・おおいた和牛
3月1日 ～3月31日	○肉の辻西おおいた和牛フェア ・おおいた和牛
3月2日 ～3日 3月9日 ～10日 3月16日 ～17日	◎甘太くんロードショー ・ライブ門真店、西宮原店、森ノ宮店 ・販売員による試食販売 ・甘太くん登場
3月5日 ～6日	◎ライブコマース(九州・沖縄フェア) ・ライブ配信による県産品の販売 ・味ーねぎしゃぶセット、甘太くん干し芋
3月18日	◎京都あじわい館 大分水産物料理教室 ・かぼすブリ、クロメ
3月18日 ～19日	◎東九州物産展にてPR(デイズスクエア) ・東九州(大分、宮崎、鹿児島)が連携して開催 ・ベリーツ青果、加工品等を販売 ・ライブコマースにて県産品セットを販売
3月23日 ～24日	○辻学園調理・製菓専門学オープンキャンパスにてベリーツPR ・参加者へベリーツを使ったデザートを提供 ・ベリーツについて説明

項目	場所	時期	内容及び成果
販売フェア	福岡	4月15日 ～4月16日	○イオン九州「大九州マルシェ」 ・九州内のイオン62店舗及びマックスバリュ46店舗 ・味-ねぎ、赤採りトマト、白ねぎ 等 ・味-ねぎのねぎしゃぶ試食宣伝
		6月22日	◎うまみだけ販促PR ・ヤマエ久野ハウスフェスタ
		6月23日	○ヤマエ久野「ハウス☆フェスタ2023」 ・うまみだけPR
		7月1日 ～7月2日	○岩田屋本店南国フルーツ「ハレノマチヒタ フルーツ販促」 ・日田市による尺玉西瓜、天領西瓜販促
		7月14日 ～7月17日	○イオン九州香椎浜店「大分うまいもんフェア」 ・催事でのブース出店
		8月18日	◎イワサキエース かぼすヒラマサPR販売 ・かぼすヒラマサ
		9月1日	◎DEAN&DELUCA 大分フェア ・アミュプラザ博多店、福岡店
		9月1日 ～9月30日	◎DEAN&DELUCA 大分県産フェア ・ヒラマサ、しらす
		10月12、13日 1月30日	◎うまみだけ販促PR ・KATARUイベント
		10月25日～ 29日	○イオンモール福岡店「世界農業遺産と大分うまいものフェア」 ・物産販売と世界農業遺産や七島蘭工芸品等のPR(うまみだけ等) ・催事でのブース出店
		10月26日 ～29日	○イオンモール福岡店「世界農業遺産と大分うまいものフェア」 ・物産販売と世界農業遺産や七島蘭工芸品等のPR ・大分県産椎茸及びうまみだけ加工品等の販売 ・かぼすPR
		11月3日	○ホームメイドクッキング大分県椎茸講座(福岡) ・乾しいたけ、かぼす
		11月9日 ～11日	○イオン九州香椎浜店「大分うまいもんフェア」 ・催事でのブース出店
		12月11日 ～12日	○博多駅「全農直販加工品販促」 ・ベリーツ、美娘、甘太くん、かぼす果汁、ジュース、菓子など加工品 等
		12月27日	◎甲斐拓也による「ベリーツ販促」 ・ボンラパス百道店
		1月24日	○たべごろ百旬館「白ねぎ販促」 ・ねぎしゃぶ試食提供、NHKはっけんTV、NHK社員食堂でのメニュー提供
2月2日 ～25日	◎たべちみて！大分うまいもんDCフェア ・福岡市内飲食店12店舗 ・甘太くん、ベリーツ、冷凍椎茸、かぼすブリ、かぼすヒラメ、おおいた和牛		
2月9日 ～3月3日	○サポーターショップキャンペーン(福岡1店舗) ・おおいた和牛		
2月10日 ～3月3日	○おおいた和牛サポーターショップフェア ・福岡県内サポーターショップ		

	2月10日 ～23日	◎甘太くんロードショー ・ゆめタウン佐賀(10,11日)、ゆめタウン博多(17,18日)、ゆめタウン久留米(22,23日)
	2月11日 ～12日	○岩田屋本店南国フルーツ「ベリーツ販促」 ・ベリーツ
	2月15日	○西鉄レガネット天神「スイートピー販促」 ・スイートピー
	2月17日 ～20日	○イオン九州筑紫野店「大分うまいもんフェア」 ・催事でのブース出店
	3月22日 ～24日	○肉の中津留おおいた和牛フェア ・おおいた和牛

項目	場所	時期	内容及び成果
販売フェア	県内	4月29日	○イオンパークプレイス大分店 海洋高校生によるマグロ解体ショー ・養殖マグロ
		7月6日	○乾しいたけの日イベント ・子ども食堂(大分県社会福祉協議会)へ贈呈(うまみだけ20kg)
		7月5日 ～16日	○県内量販店5店舗「県産地産地消夏野菜カレーフェア」 トキハインダストリー3店舗(7/5-7)、新鮮市場1店舗(7/7-9) マルミヤストア1店舗(7/14-16) ・ハウス食品と連携したカレーと併せた野菜の販促を実施
		7月27日	◎おおいた和牛 親子食育ツアー ・おおいた和牛
		8月11日 ～9月4日	○「9月4日は、おおいた和牛の日」小売店キャンペーン(115店舗) ・おおいた和牛
		8月26日	○うまみだけキックオフイベント ・大分トリニータでの販売・PRイベントの開催
		9月2日 ～3日	○県内量販店イオン、マックスバリュ、トキハインダストリー、HIヒロセ、39店舗 「夏野菜フェア」 ・夏野菜レンビのPRを実施
		9月26日	◎保育園料理教室 ・おおいた和牛、米の恵み、おおいた冠地どり、豊のしゃも
		10月14日 ～15日	○イオンパークプレイス店、三光店「クロダマルフェア」 ・クロダマルの枝豆を販促・PR
		10月16日	○イオンパークプレイス大分店 かぼすブリPR販売 ・かぼすブリ
		11月11日、12 日	◎イオンパークプレイス店「しいたけフェア」 ・乾しいたけ(うまみだけ)と生しいたけ、椎茸加工品の販促・PR
		11月24日	○イオン九州(19店舗) 杵築ん鱧フェア ・ハモ
		11月26日	○大分県しいたけ料理コンクール ・県内高校代表者7名
		11月29日	◎おおいた和牛PRイベント(大分駅前広場) ・おおいた和牛
		11月29日 ～2月9日	◎おおいた和牛ぎゅう牛キャンペーン(飲食・旅館64店舗、ECサイト11件) ・おおいた和牛
		12月15日	○イオンパークプレイス大分店 海洋高校生によるマグロ解体ショー ・養殖マグロ
		1月13日 ～2月4日	○甘太くんロードショー ・Mr.Max西大分店(1/13,14)イオンパークプレイス店(1/20,21)、ゆめタウン別府店(1/27,28)トキハわさだタウン(2/3,4)で焼き芋を含めた甘太くんの販促を実施
		1月19日、 24日、30日	◎食育授業(三佐小学校、坂ノ市小学校、鶴崎小学校) ・おおいた和牛
		2月10日 ～2月29日	○米の恵みキャンペーン(飲食22店舗) ・米の恵み
		2月24日	◎おおいた和牛トレイン出発式 ・おおいた和牛
2月29日	○青山学院大学陸上競技部 県畜水産物を贈呈 ・歓迎セレモニーで、おおいた和牛、米の恵み(豚)、おおいた冠地どり、うまみだけ、かぼすブリ等贈呈		

		3月9日	○大分ねぎまつり2024 ・白ねぎ、こねぎの販売及び試食販売
		3月11日	○ベリーズフェアin地獄温泉ミュージアム ・ベリーズ青果の販売

②トップセールス

知事、行政、生産者、関係団体による大都市圏・拠点市場における県産農林水産物のPR

具体的な取組み

項目	場所	時期	内容及び成果
トップセールス	京都	6月16日	京都市場でのピーマンPR ・京都青果合同㈱役員との意見交換 ・京都市場におけるトップセールス
	福岡	7月14日	豊後大野市長によるトップセールス ・福岡大同青果(株)との意見交換 ・福岡大青果市場におけるトップセールス
	福岡	8月5日	竹田市長によるトップセールス ・福岡大同青果(株)との意見交換 ・福岡大青果市場におけるトップセールス
	大阪	8月19日	大阪本場日田梨PR ・大阪中央青果㈱役員との意見交換 ・大阪本場におけるトップセールス
	京都	12月9日	京都市場でのベリーズPR ・京都青果合同㈱役員との意見交換 ・京都市場におけるトップセールス
	東京	1月26日	「新宿高野大分フェアPRイベント」 ・新宿高野社長とのトップ会談 ・パーラーで開催したイベントにおけるトップセールス(ベリーズ)
	名古屋	1月27日	名古屋市場白ねぎトップセールス ・名古屋市場におけるトップセールス ・セントライ青果㈱との意見交換
	京都	2月17日	「おんせん県おおいた美味しいものフェア」 ・京都青果合同㈱役員との意見交換 ・京都市場におけるトップセールス
初出荷式 (旬入り宣言)	大分	4月24日	「ハウスみかん初出荷式」 ・大分市公設地方卸売市場
	大分	5月23日	「ピーマン旬入り宣言式」 ・大分市公設地方卸売市場
	福岡	6月1日	「夏秋ピーマン旬入りPR」 ・永谷園麻婆春雨の試食、量販店視察 ・福岡大同青果(株)との意見交換
	大分	7月3日	「シャインマスカット旬入り式」 ・大分市公設地方卸売市場
	福岡	7月22日	「日田梨旬入り」 ・福岡大同青果市場 ・女性部による試食
	大分	8月1日	「かぼすヒラマサ出荷式」 ・大分市公設地方卸売市場

福岡	8月18日	「露地かぼす旬入り」 ・福岡大同青果(株)との意見交換
大分	8月18日	「大分かぼす旬入り宣言式」 ・大分市公設地方卸売市場(旬入り宣言式)
大分	8月26日	「日田梨(豊水)初競り式」 ・大分市公設地方卸売市場
大分	9月7日	「おおいた早生初競り式」 ・大分市公設地方卸売市場
大分	10月2日	「かぼすプリ出荷式」 ・大分市公設地方卸売市場
大分	10月27日	【鍋需要期に対応したPR】 「大分生しいたけ旬入り宣言式」 ・大分市公設地方卸売市場(旬入り宣言式) (椎茸振興協議会長)
大分	11月14日	「甘太くん初出荷式」 ・大分市公設地方卸売市場(初出荷式) ・九州内ローソンにおいて、焼芋を販売(焼芋解禁式)
大分	11月17日	「ハウスデコボン・ハウス美娘初出荷式」 ・大分市公設地方卸売市場
大分	11月22日	「日田梨(豊里)初出荷式」 ・大分市公設地方卸売市場(旬入り宣言式)
福岡	11月28日	「甘太くん旬入り」 ・福岡大同青果(株)との意見交換
大分	11月28日	「大分いちご旬入り宣言式」 ・大分市公設地方卸売市場(旬入り宣言式)
大分	12月1日	「大分白ねぎ旬入り宣言式」 ・大分市公設地方卸売市場(旬入り宣言式)
福岡	12月9日	「かぼすヒラメ、かぼすフグ試食宣伝」【下入津陸上養殖組合】 ・福岡市中央卸売市場長浜鮮魚市場 ・かぼすヒラメ、かぼすフグの試食

○新たな商品開発

具体的な取組み

品目	活動内容・成果
かぼす	【食品企業等における県産品使用】 ・はちみつカボスドリンク新発売(ベルク) ・大分県産かぼす香る甘・辛ぼん酢新発売(ベルク) ・ニッポンエール大分県産完熟かぼすSODA新発売(伊藤園×全農) ・地獄のカボスケーキ新発売(メゾンジブレ) ・炭火塩焼き鳥井大分県産かぼすたれ使用、鶏の炙り焼きおむすび大分県産かぼすたれ使用(セブン-イレブン)
ベリーーツ	【食品企業等における県産品使用】 ・大分県産ベリーーツいちごのジャム使用フロマージュ新販売(セブン-イレブン)

味-ねぎ	【食品企業等における県産品使用】 ・大分県産味-ねぎのねぎ焼き発売(セブン-イレブン)
ピーマン	【食品企業等における県産品使用】 ・大分県産ピーマンと蒸し鶏の昆布和え発売(セブン-イレブン)
梨	【食品企業等における県産品使用】 ・野菜生活「大分日田梨」ミックス再販(カゴメ)
その他	【食品企業等における県産品使用】 ・完熟かぼす&サンクイーンサワー新発売(セブン-イレブン) ・ゆず香るホイップクリームぱん新発売(ローソン)

○県域流通体制整備の状況等

大分青果センターを拠点とした広域流通体制の整備に向け、大分県農業総合戦略会議において、関係者による議論を実施
・営農指導・販売強化作業部会、販売強化WG、計3回

○販促資材の作成

- 「ピーマン」ポスターB2増刷(500枚)
- 「ベリーツ」Tシャツ追加(10枚)
- 「ピーマン」ミニのぼり追加(200枚)
- 「温水かぼす・ニータン」ノベルティタオル(500枚)
- 「白ねぎ」ノベルティ布巾(100枚)
- 「ベリーツ」ポスター白B2増刷(200枚)
- 「ベリーツ」ポスター白A3増刷(1500枚)

○会議

会議名	時期	場所	内容
幹事会	5月14日	本館9階 91会議室	・令和5年度事業実績、収支決算について ・令和6年度事業計画(案)、収支予算(案)について
総会	6月7日	トキハ会館	・令和5年度事業実績、収支決算について ・令和6年度事業計画(案)、収支予算(案)について

「The・おおいた」ブランド流通対策本部 令和5年度収支決算(案)

【収入の部】

(単位:円)

科 目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減比	備 考
県費負担金	9,710,000	9,710,000	0	・流通販売対策 :8,118千円 ・食品企業連携対策:1,592千円
県費負担金 (特枠)	15,000,000	15,000,000	0	・県産食材味力発信事業【特枠】:11,700千円 ・神鳥氏ベリーツ委託料:3,300千円
大分県農協	1,000,000	1,000,000	0	
全農大分県本部	500,000	500,000	0	
大分県漁協	500,000	500,000	0	
繰越金	1,008,523	1,008,523	0	
その他	113	477	△ 364	預金利息
計	27,718,636	27,719,000	△ 364	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減比	備 考
アドバイザー活動費	54,867	200,000	△ 145,133	マーケティングアドバイザー活動費 (旅費、食糧費等)
販路開拓費	2,240,975	3,000,000	△ 759,025	新規販路開拓に向けた活動費 (バイヤー招へい、サンプル提供費等)
販促活動費	15,249,095	16,377,000	△ 1,127,905	短期集中県域支援品目等を中心とした販促活動費 (トップセールス、販促資材作成等) ※県産食材味力発信事業11,700千円含む
新商品開発費	602,080	1,592,000	△ 989,920	新商品・アイテムづくりに係る経費 (試作品開発経費、サンプル提供費等)
短期集中県域支 援品目等重点販 促活動費	3,300,770	3,300,000	770	ベリーツの一貫したブランドイメージ確立に係る経費 (ロゴ、ポスター制作費等)
会議費	236,846	350,000	△ 113,154	総会、幹事会経費等
事務費	2,850,654	2,900,000	△ 49,346	人件費(書記)、事務費等
計	24,535,287	27,719,000	△ 3,183,713	

収入の部	27,718,636	【参考】令和5年度繰越金	1,008,523 円
－ 支出の部	24,535,287	令和4年度繰越金	3,379,223 円
差引残高	3,183,349	令和3年度繰越金	6,800,794 円

監 査 報 告

「The・おおいた」ブランド流通対策本部設置規程第26条に基づき、監査したところ、その内容は適正に処理されていることを認めましたので報告します。

令和6年5月28日

監事 大分県農業協同組合中央会

代表理事会長 壁村 雄吉 押印

監事 大分県漁業協同組合

代表理事組合長 中根 隆文 押印

※注：監査報告書の原本には監事の押印がありますが、個人情報保護のため印字に変えております。原本は事務局で保管しています。

第2号議案 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

1 事業計画

【事業方針】

想定を上回るスピードで進む人口減少や長引く物価高、2024年問題への対応など、農林水産業を取り巻く環境は、大きなターニングポイントを迎えている。そのような中、農業総合戦略会議を踏まえて取り組んできた短期集中県域支援品目については、今年度が総仕上げとなる重要な年度となる。また、県内外の販売促進活動等に関しては、店頭での試食販売や飲食店等と連携したフェアや産地招聘など、生産者の声を消費者に届ける機会を増やすことにより、大分県産品のPRに効果が得られている。引き続き、各地域で県産品の売り込みを進めていくとともに、来年開催が予定されている大阪・関西万博の開催を見据え、関西圏を重点ターゲットとして更なる販路拡大に取り組む必要がある。

加えて、県内では物流のストックポイントである大分青果センターの増設工事が4月に完了した。トラック運転手の残業規制強化に伴い、輸送能力の不足が懸念される中、更なる販路拡大を図るためにも、大消費地に安定して県産品を輸送できる体制を整備することが重要となる。集荷力の増強に加え、新たにJA・全農合同販売チームを設置するなど機能性が向上した青果センターの本格始動を受け、トラック積載率の向上や標準パレット化による荷物の積み下ろし時間の短縮に向けた取組、11パレットに対応した輸送資材の試作など、今後も実証研究を重ねながら検討していかなければならない。

これらの状況を踏まえ、本年度は下記の重点事項に取組み、「The・おおいた」ブランドの確立に努める。

(1) 大消費地における積極的なPRの実施

市場と連携した生産者による消費地での積極的なPRや、トップセールスの実施を強化することで、ブランドイメージの定着や、市場関係者との強固なリレーションシップを構築する。

- ・ 消費地での消費喚起対策や販売促進活動の推進

(2) 新規販売先の獲得に向けた、マーケティングアドバイザーとの連携強化

短期集中県域支援品目や、産地拡大推進品目の増産見込みを踏まえ、マーケティングアドバイザーとこれまで以上の連携を図り、新たな販路の開拓を図る。

- ・ 新規量販店開拓、契約取引拡大に向けたマーケティングアドバイザーとの連携強化

(3) 消費・販路拡大に向けた飲食店等でのメニューフェアや商談会の実施

消費拡大に向けた、消費地でのメニューフェア等は継続して実施するほか、今年度は2025年に開催が予定されている大阪・関西万博に向け、関西圏の飲食店や宿泊施設等を対象とした商談会を実施して、県産品取扱店の拡大を目指す。

(4) 物流の2024年問題へ対応した、物流効率化の推進

労働基準法の改正により4月からトラック運転手への時間外労働に対する罰則規定の適用が開始された。物流の停滞を引き起こさないためにも、大分青果センターの機能拡張によるストックポイント機能の強化、パレット輸送、RORO船活用によるモーダルシフト、ICTの活用などの検討を推進し、さらなる流通の効率化を図る。

【事業概要】

○販促活動(量販店等に対する販売促進経費)

- ① 県外拠点市場への販売拡大
 - ・ 行政や業界団体トップ等による市場、量販店、販路開拓先へのトップセールス
 - ・ 市場関係者との綿密な情報交換による拠点市場への出荷量及び契約取引の拡大
 - ・ ライバル産地の商品や出荷先、消費動向の分析
- ② 県内量販店での販売促進
 - ・ 出荷量に応じた、消費拡大フェアの開催
- ③ 消費者への訴求力のある効果的な PR
 - ・ 大手企業とのコラボや、集客効果が期待できるイベントでの共同宣伝
 - ・ 効果的な販促資材、ポスター、リーフレットの作成
 - ・ 調理師専門学校や学校・保育施設等での食育活動の実施

○販路開拓(新たな販路開拓に係る経費)

- ① マーケティングアドバイザー等との連携
 - ・ バイヤーやシェフ等の積極的な産地招聘による県産農林水産物への理解促進及び契約取引拡大に向けた取組
 - ・ マーケティングアドバイザーを通じた県外での新規販売先の開拓
- ② 飲食店等との連携
 - ・ 消費拡大に向けた、消費地でのメニューフェア等を出荷と連携して実施
 - ・ 令和6年度開催の全国豊かな海づくり大会を契機にした販促活動の強化や令和7年度開催の大阪・関西万博を見据えた販促活動の実施
- ③ 水産品、水産加工品の販路開拓
 - ・ おおいたの魚パートナーシップ量販店・飲食店での県産魚の PR 及び消費拡大
 - ・ おおいたの魚パートナーシップ飲食店の新規認定
 - ・ マーケットインの商品づくりの推進(骨切りハモ、第2加工場を活用した高次加工品)
- ④ 畜産物の販路開拓
 - ・ おおいた和牛、県統一ブランド豚「米の恵み」、おおいた冠地どりの販路開拓
 - ・ おおいた和牛の取扱認定店並びにサポーターショップの拡大等
- ⑤ しいたけの販路開拓
 - ・ 「うまみだけ」を切り口とした県産乾しいたけの販路開拓及び販売体制の整備・強化
 - ・ 原木生しいたけの安定供給と冷凍しいたけの販売力強化に向けた取組

○新たな商品開発・アイテムづくり

- ① 量販店、外食産業、食品メーカー、加工業者と連携した新たな商品・アイテムづくり
 - ・ コンビニ惣菜向け商品開発
 - ・ 量販店向け PB 商品の開発や新商品の提案等

- ② 高付加価値商品の育成と差別化販売
 - ・ 県産いちご「ベリーツ」(流通拡大 等)
 - ・ 高糖度かんしょ「甘太くん」(コンビニ、量販店等との連携 等)
 - ・ 赤採りトマト(出荷体制の強化による周年安定体制の構築)
 - ・ 関もの、かぼすブリ、かぼすヒラメ、かぼすヒラマサ、かぼすフグ(新たな販路開拓等)
 - ・ 新たな高付加価値商品や6次化製品の開発支援とPR

○短期集中県域支援品目等重点販促活動

①短期集中県域支援品目の行動計画の達成に向けた取組み

- ・ R4.4 に認証された短期集中県域支援品目(4品目)に関する流通販売支援
〔ねぎ類(白ねぎ、こねぎ)、ピーマン、高糖度かんしょ(甘太くん)、ベリーツ〕

②産地拡大推進品目の園芸産地づくり計画の達成に向けた取組み

- ・ R6.4.1 に認定された産地拡大推進品目に関する流通販売支援
(短期集中県域支援品目を除く)

国東市	: たまねぎ、ぶどう、オリーブ、キウイ
杵築市	: スナップエンドウ、キウイ、施設柑橘、ラナンキュラス、 ホオズキ、茶
日出町	: ハウスみかん、露地柑橘
大分市	: にら、おおば、パセリ、キク
臼杵市	: にら、かぼす、キウイ、茶
津久見市	: 露地柑橘
由布市	: なし
佐伯市	: にら、えだまめ、キウイ、くり、施設柑橘、露地柑橘、施設花き 露地花き
竹田市	: トマト、スイートコーン、ぶどう、施設花き
豊後大野市	: さといも、くり
日田市	: なし、ぶどう
九重町	: トマト、なし
中津市	: ぶどう
豊後高田市	: ぶどう、キウイ、露地柑橘、施設花き
宇佐市	: にんにく、かぼす、ぶどう、茶、えだまめ

○物流の2024年問題に向けた取組み

①青果物等の輸送システムの合理化の推進(流通システム変革)

- ・ 大分青果センターの増設工事の完了に伴う、ストックポイント機能の強化
- ・ 共通パレット輸送の導入に向けた梱包資材等の見直し
- ・ 運送事業者の荷待ち時間短縮等に向けたICT活用の推進
- ・ モーダルシフトのさらなる促進に向けた品質調査の実施

○会 議

幹事会 令和6年5月14日(火)

総 会 令和6年6月 7日(金)

【講演会】

講師 ブンボ株式会社 代表取締役 江副 直樹 氏

演題 「ブランディングの勘所～プロモーションとブランディングの違いとは?～」

「The・おおいた」ブランド流通対策本部 令和6年度収支予算(案)

【収入の部】

(単位:円)

科 目	令和6年度 予算額①	令和5年度 予算額②	対前年比	備 考
			①-②	
県費負担金	13,010,000	9,710,000	3,300,000	・The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業 : 10,318千円(8,118+2,200) ・食品企業連携産地拡大推進事業:1,592千円 ・神鳥氏ベリーツ委託料【R5~】:1,100千円(△2,200)
県費負担金 (特枠)	4,419,000	15,000,000	△ 10,581,000	【R5】・県産食材味力発信事業:△11,700千円 ・神鳥氏ベリーツ委託料:△3,300千円 ※「県費負担金(特枠)」から「県費負担金」へ移行 【R6】大阪関西万博事業:4,419千円
大分県農協	1,000,000	1,000,000	0	
全農大分県本部	500,000	500,000	0	
大分県漁協	500,000	500,000	0	
繰越金等	3,183,349	1,008,523	2,174,826	繰越金:3,183,349円
その他	651	477	174	預金利息
計	22,613,000	27,719,000	△ 5,106,000	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	令和6年度 予算額①	令和5年度 予算額②	対前年比	備 考
			①-②	
アドバイザー活動費	200,000	200,000	0	マーケティングアドバイザー活動費 (旅費、食糧費等)
販路開拓費	8,970,000	3,000,000	5,970,000	新規販路開拓に向けた活動費 (バイヤー招へい、サンプル提供費等) ※大阪関西万博事業4,419千円含む
販促活動費	7,000,000	16,377,000	△ 9,377,000	短期集中県域支援品目等を中心とした販促活動費 (トップセールス、販促資材作成等)
新商品開発費	1,592,000	1,592,000	0	新商品・アイテムづくりに係る経費 (試作品開発経費、サンプル提供費等)
短期集中県域支 援品目重点販促 活動費	1,101,000	3,300,000	△ 2,199,000	ベリーツの一貫したブランドイメージ確立に係る経費 (ロゴ、ポスター制作費等)
会議費	350,000	350,000	0	総会、幹事会経費等
事務費	3,400,000	2,900,000	500,000	人件費(書記)、事務費等 ※人件費が上がったことによる増額
計	22,613,000	27,719,000	△ 5,106,000	

※R4年度から、「短期集中県域支援品目(ねぎ、ピーマン、かんしょ、ベリーツ)」に対する集中的な販売促進活動を全農大分県本部と県で別途実施中。